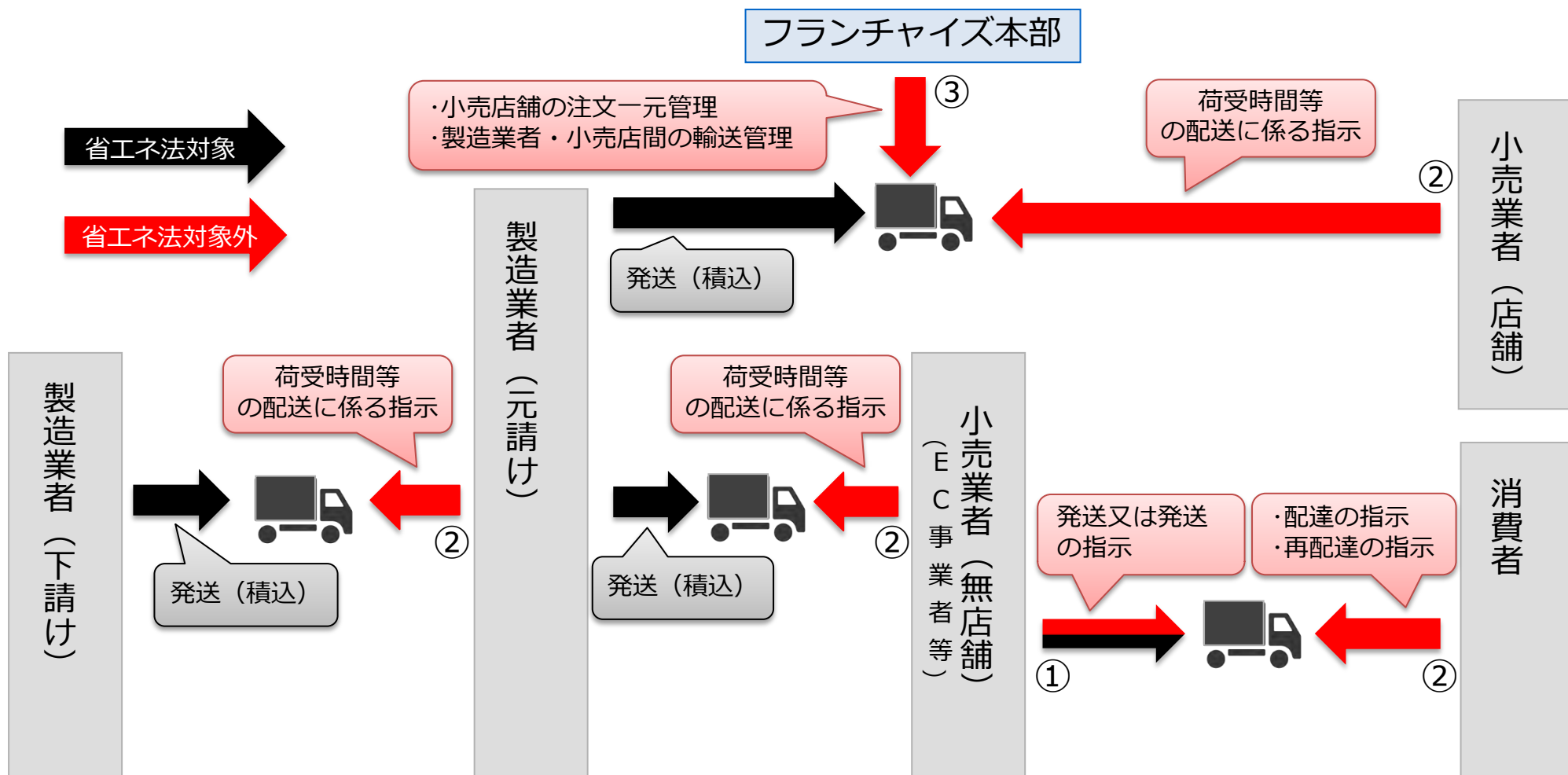


本日のプレゼンテーション等について

平成29年6月29日

資源エネルギー庁

- 情報技術の発展・普及、それにより産業・商取引の高度化が進み、平成17年省エネ法改正当初では十分に想定していなかった者による物流への関与の重要性が増している。
 - ① 宅配貨物の再配達増加、宅配便の少量・多頻度化 ⇒ EC事業者
 - ② 個別の着時間指定が行われず、到着順の受け付け対応による荷待ちの発生等 ⇒ 着荷主
 - ③ 大量の貨物の注文を一元管理、複数製造業者・複数小売店間の輸送の取り仕切り ⇒ フランチャイズ本部



- 物流全体の省エネを進めるため、関係者から取組状況や課題をヒアリングするとともに、EC事業者、荷受人及びフランチャイズ本部等の省エネ法における取扱いについて集中的に審議する。

■ヒアリング項目

- (1) 貨物輸送事業者の取組と課題【一般社団法人日本物流団体連合会・公益社団法人全日本トラック協会】
 - 貨物輸送事業の実態（荷待ちや再配達増加による生産性への影響等）、物流効率化に向けた取組（荷主との連携等）及び関係者への期待
- (2) EC事業者の取組と課題【公益社団法人日本通信販売協会・楽天株式会社】
 - EC事業の物流の実態（EC事業者の輸送への関与や宅配貨物の所有権の所在等）、物流効率化に向けた取組（再配達削減等）及び課題
- (3) 着荷主の取組と課題【トヨタ自動車株式会社・一般社団法人日本加工食品卸協会】
 - 荷受けの実態（着荷主の輸送への関与等）、物流効率化に向けた取組（荷待ち削減や積載率向上等）及び課題
- (4) フランチャイズ本部の取組と課題【株式会社セブン-イレブン・ジャパン・日本マクドナルド株式会社】
 - フランチャイズの物流の実態（本部の輸送への関与等）、物流効率化に向けた取組（輸送ルート最適化や積載率向上等）と課題
- (5) 物流全般について【流通経済大学 矢野教授】
 - 全体総括

○ スケジュール・議題

・5月 8日（月） 省エネルギー小委員会①

議題： 中間取りまとめを踏まえた省エネ施策の検討状況について

・6月29日（木） 省エネルギー小委員会②

議題： 荷主規制のあり方に関するヒアリング

・7月20日（木） 省エネルギー小委員会③

議題： 1. 省エネルギー小委員会意見（仮称）骨子の議論
2. 省エネ政策の進捗状況の紹介

・7月28日（金） 省エネルギー小委員会④

議題： 省エネルギー小委員会意見（仮称）の取りまとめ

○ 以降、必要に応じて議論を継続